

令和7年度 理解推進研修
千代田区、中央区、台東区、墨田区、江東区等の
区立小・中学校及び都立特別支援学校の教職員の皆様

令和7年度 授業力向上研修

障害がある子供たちの 「考える力」を育てる指導方法 ～延滞の学習～

講師

つばき教育研究所 理事長 宮城 武久氏
多摩つばき教育研究所 所長 宇川 和子氏



令和7年8月22日（金）

13時30分～16時30分まで
（受付は13時～13時20分）

場所 都立墨東特別支援学校 体育館

【申し込み方法】

右の二次元コードからお申込みください
15名まで（先着順）

※受け入れ人数に達した場合には受付を終了します



「延滞」の学習は、「見る」「覚える」「思い出す」学習を通して、考える力の基礎を育てる学習です。
指導者役、児童・生徒役を体験しながら実践的に学び合います。
ぜひ御参加ください。

【お問い合わせ】

都立墨東特別支援学校
東京都江東区猿江2-16-18

（電話）03-3634-8431

（担当）副校長 藤井 夢
主幹教諭 藤井 温子

主任講師をお願いする 宮城武久先生の御紹介

長きにわたり、埼玉県内で「つばき教育研究所」を理事長として運営され、障害の種別や程度を問わず東京・埼玉等の各地から個別指導を希望される方を広く受け入れ、お子さんの学習心理を踏まえた「個別学習による学力向上の指導」を研究されています。研究所では週1回、1時間程度の個別指導を保護者立ち合いの下で専任研究員が行っています。事後の振り返りの中では、お子さんの判断力、思考力を伸ばす家庭での接し方等についてもアドバイスを受けられています。

この研究所に通った何百人を超えるお子さんの指導の蓄積から確立された指導方法は書籍として発刊されてロングセラーになっています。

【宮城先生・宇川先生の書籍紹介】

株式会社Gakken「障害がある子どもの基礎学習」シリーズ全7巻

障害がある子どもの考える力を育てる基礎学習 形を見比べる 大きさを見比べる 衣服を着る・脱ぐ よく見て覚える
障害がある子どもの文字を書く基礎学習 ひらがな・漢字の基礎学習
障害がある子どもの数の基礎学習 量の理解から繰り下がりの計算まで
障害がある子どもの文字を読む基礎学習 導入から単語構成の指導
障害がある子どもの文・文章の理解の基礎学習 文をつくる 文章の内容がわかる
障害がある子どもの時計・お金の基礎学習 時計を読む お金を数える 絵の向きや位置を理解する
 障害が重い子どもの わかる力を育てる初期学習 すべての学びのはじめのはじめ